

尾山台ナザレン幼稚園
2022年度 学校自己評価
学校関係者評価

1. 学校評価を行うに当たって

尾山台ナザレン幼稚園が今後も幼稚園として存続していくためには、保育の質を高め、地域に認められる幼稚園にならないといけないと考えます。

今後、幼稚園として、保育の質を高めていくことが重要な課題ですが、どのようにして保育の質を高め、保護者に認知され、地域において認められるかを常に考えなければなりません。そこで、目指す保育として以下のように考え、実践していきたいと考えます。

なお、本園は、この自己評価を基に園を挙げて改善、改革に取り組み、より良い教育活動を行うように努めてまいります。

2. 尾山台ナザレン幼稚園の教育目標

教育目標	「みんなで育つ、みんなの幼稚園」を目標に、神に愛され、みんなに愛され、ともに育つ子どもとなるように成長を支援する。
教育の特色	保育のキー・ワードとして、 ① キリスト教保育 —— 愛されること、愛することを知る ② 自由保育 —— 自由遊びを通して遊びこむ ③ みんなの幼稚園 —— ひとりとして疎外されないでみんなで育つ のもとに、健全な心と身体をつくる。

3. 評価

	評価項目	具体的な取り組みと自己評価
コロナ禍の中で	コロナ禍による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナによる影響もわずかになってきたこともあり、幼稚園内では園児、職員共にマスク無しとしました。幸いにして、園内での感染はありませんでした。 ・コロナによる影響は、年間行事にも現れました。今年度も運動会は中止となり、代わりに学年ごとのプレイ・デー（保護者も参加）を行いました。父母の会主催の「こどもまつり」も中止となった。 ・年長組のお泊り会を3年ぶりに行ない、卒園遠足は11月に行なった。 ・年間行事が中止になったり、変更になったりしましたが、今後の行事のあり方として考える機会なのではないかと考えられます。
教育課程の編成と実施	自由遊びの時間をできるだけ	<ul style="list-style-type: none"> ・年中・年長組の体操や英語の時間、あるいは年少組の11月からの体操の時間を除き、毎朝登園後から自由遊びの時間にすることが出来た。 ・遊びこむための環境設定が出来るようになってきた。 ・枠にはめずに自由な発想から遊びの展開ができています。 ・子どもたちのやりたいという思いに沿った遊びができています。 ・自由な遊びには危険も隣り合わせにあるという状況からの遊びができています。 ・主体的な、みんなで遊ぶ遊び方ができていた。
	聖話絵本の読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> ・園からのクリスマス・プレゼントの絵本を読み聞かせでき、クリスマスの準備になった。 ・聖話絵本の続きを楽しみにするようになった。
	個人記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・個人記録を一人1ヶ月1枚の割で作成できた。子どもたちや保護者に対して随時閲覧出来るようにした。子どもたちや保護者の反響は良かった。 ・クラスだよりの発行が毎月できた。
	制作について	<ul style="list-style-type: none"> ・母の日、父の日、クリスマスのプレゼントを製作するときにも、一斉に制作を行わず、小グループに分け行った。希望者から少しずつクラス全体に波及するように行った。

	食育について	<ul style="list-style-type: none"> ・園の田んぼで、田植えを行い、借り入れをし、精米して炊き、おにぎりにして食した。 ・園の畑でさやえんどう、大根、サトイモ、小松菜などを栽培し、収穫し、園で料理して食べた。 ・あんずのジャムを作ったり、小松菜パンや小松菜クッキーを作ったりして楽しんで食した。 ・年長組がピザ窯を造り、焼き芋、ピザを作って楽しんでいた。
環境	園庭環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの一環として池を作り、金魚やめだか、ザリガニなどを放して育てた。子どもたちが慣れずに手で触ったりしたこともあり、死んだり、いなくなったりした。
研修	園内外の研修に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の研修、あるいはオンライン配信による研修を受けた。 ・園内研修を1回行なった。
保護者・地域との連携	地域や玉堤小学校との協力連携	<ul style="list-style-type: none"> ・玉堤小へ年長組が訪問し交流を行なった。 ・保護者の保育参加を行なった。
安全管理	防災訓練の実施 防犯訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震に対する防災訓練を行なった。 ・防犯訓練を行なえなかった。
保健管理	園児の健康に関わる年間指導計画 健康診断の定期的な実施と園児の健康状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・内科健康診断と歯科健康診断を行なった。 ・職員の定期健康診断を行った。
預かり保育	預かり保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は延べ4,690名の園児の預かりを行った（1日平均21名強であった）。 ・全体として、定期的に利用する園児が増えてきた。
れんらくアプリの活用	れんらくアプリの有効活用 おうちえんの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席届、預かりの申し込み、取り消しをれんらくアプリから行なった。 ・用品、写真の販売もれんらくアプリを通して行なった。 ・クラスだより、幼稚園からのお知らせ等をれんらくアプリから行なった。 ・緊急連絡等をれんらくアプリから行なった。

・幼稚園では、自由保育となり、個人記録の作成、保護者の保育参加により、またクラスだよりの発行等により保育の内容を公開してきました。今後とも、保育の内容についての透明性を高めるとともに、情報発信をしていきたいと考えております。

5. 2023年度の取り組み

教育目標「みんなで育つ、みんなの幼稚園」 7年目

- ① 「みんなで育つ、みんなの幼稚園」の目標に向けて、中でも自由保育、それも徹底的に遊び込むことに重点的に取り組む。特に年長組では子どもたちが考えた遊びをできるように見守る。
- ② 個人記録の充実
- ③ 園庭環境の整備
- ④ れんらくアプリ（保護者連絡ツール）の有効活用
- ⑤ 預かり保育の充実

6. 関係者評価委員会の評価

- ①本幼稚園の経営母体である宗教法人日本ナザレン教団の尾山台幼稚園運営委員会の評価です。
保育の特色に挙げられている「キリスト教保育」に関して、教会との関係は？との質問に対する答えとして、年長組になると教会の会堂を利用して礼拝を行ったり、教会の牧師に聖話をお願いすることなどを通して関係を持っているであったが、評価された。
- ②「れんらく」アプリの利用が十分出来ていることは評価された。
- ④ 保護者対応については今後十分に気をつけて対応して貰いたいとの評価であった。